自動火災報知設備　②

試験項目				種別・容量等の内容	結果
外観試験	警戒区域	警戒区域の設定		―――	
	受信機	設置場所等	設置場所		
			周囲の状況・操作性	―――	
			設置状況	―――	
		構造・性能		―――	
		操作部		床面からの高さ　　m	
		予備品等		―――	
	中継器	設置場所等			
		構造・性能		―――	
		予備品等		―――	
	電源（電池を除く。）	常用電源		AC　　V	
		非常電源の種別		非常電源専用受電設備・蓄電池設備	
	感知器	警戒状況・設置状況・構造・性能	差動式スポット型	―――	
			定温式スポット型	―――	
			補償式スポット型	―――	
			熱複合式スポット型	―――	
			熱アナログ式スポット型	―――	
			定温式感知線型	―――	
			差動式分布型（空気管式）	―――	
			差動式分布型（熱電対式）	―――	
			差動式分布型（熱半導体式）	―――	
			煙感知器（光電式分離型及びアナログ式を除く。）	―――	
			イオン化アナログ式スポット型	―――	
			光電アナログ式スポット型	―――	
			熱煙複合式スポット型	―――	
			光電式分離型	―――	
			光電アナログ式分離型	―――	
			炎感知器	道路の用に供される部分以外	
	発信機	設置場所等		―――	
		構造・性能		―――	
	表示灯	設置場所等		―――	
		構造		―――	
	地区音響装置	設置場所等		―――	
		構造		―――	

自動火災報知設備　③

試験項目				種別・容量等の内容	結果
機能試験	配線	共通線試験		―――	
		送り配線試験	試験回線－1	―――	
			試験回線－2	―――	
			試験回線－3	―――	
	無線設備	通信試験		―――	
	受信機	火災表示試験	火災表示状況	―――	
			保持機能	―――	
			2信号式の機能	―――	
			蓄積式の機能	―――	
		注意表示試験	注意表示状況	―――	
		設定表示温度試験	設定表示温度等	―――	
		回路導通試験		―――	
		同時作動試験	常用電源使用時	―――	
			予備電源使用時	―――	
		感知器作動試験	自動試験機能を有するもの	―――	
			遠隔試験機能を有するもの	―――	
		予備電源試験	電源自動切替機能	―――	
			電圧	V	
		非常電源試験	電源自動切替機能	―――	
		付属装置試験		―――	
		相互作動試験	相互通話状況	―――	
			地区音響装置鳴動状況	―――	
	中継器	設定表示温度試験	設定表示温度等	―――	
		回路導通試験		―――	
		予備電源試験（予備電源を有するもの）	電源自動切替機能	―――	
			電圧	V	
	感知器		作動試験	（その2）及び（その3）による	
			作動継続試験		
			流通試験		
			接点水高試験		
			回路合成抵抗試験		
	発信機	作動試験		―――	
	地区音響装置	鳴動方式試験		―――	
		作動試験		（その2）及び（その3）による	
備考					

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
3　非常電源（内蔵型以外のもの）及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
4　蓄積式中継器の機能試験は、感知器の作動試験及び発信機の作動により確認するものとする。
5　複合式の感知器の試験は、それぞれの種別に応じて行うものとする。
6　総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。